

平成二十五年卒業論文題目一覧

〔国語〕

阿部 将貴	オチから見る落語と漫才の談話構造比較	今野 結実	〔向田の描いた《男女・家族の戦後》〕
石川 亮輔	『DEATH NOTE』論	齊藤 奈月	ドラマ『相棒』論 〔人間関係の視点から〕
伊藤 優香	1950年代の吉本隆明 〔転向批判に至る思想をめぐって〕	佐々木智也	釜石方言の文法と特色について
岩槻 有美	《吸血鬼文学》考 〔苦悩・葛藤する吸血鬼をめぐって〕	佐々木洗美	授業研究と国語教師の力量形成に関する研究
内山 和成	文脈を読む 〔場面指標性表現に焦点を当てて〕	末永あい子	日本における「仁」の受容について
生地 冬実	編集者松居直の絵本観	関向 良子	〔声に出して読む〕というものの理論と実践
越後 茜	日本《ショート・ショート文学》研究 〔《最小の小説》形式による《最大限の自由》をめぐって〕	高橋 昇平	〔国語教育における学びの中で〕
大上真之介	森見登美彦「四畳半神話大系」論 〔現代幻想文学の観点から〕	高橋 康太	交流を生かした文学の授業についての研究
大関 真美	若者言葉における文化的側面の考察	高橋 昇平	日本語の韻律について
小野寺大悠	《ムーミン谷の物語》考	高橋 春香	〔文章構成が与える印象の変化〕
折居 明美	オノマトペ研究 〔マンガにおけるオノマトペ〕	高橋 結依	孔子研究
釜道 明李	『青い鳥』研究 〔重松清の教育論をめぐって〕	立花 知子	〔GO〕研究
菅野 義郁	生贄譚・考	富橋 芙美	〔在日問題とアイデンティティをめぐって〕
工藤 純	漢学の受容と日本の文化について	永沼まどか	生命倫理論
久保 拓也	役割話論 〔言葉に表れる人物像〕	那須川彩子	〔iPS細胞にみる人間の本能と欲望〕
今野 菜実	『蜻蛉日記』研究 〔嘆きの歌と結婚制度をめぐって〕	野澤 翔平	オノマトペについて 〔日本語の音表象〕
	脚本家向田邦子論	畠山 環子	戦後日本精神史
		藤本 美保	〔《復興》と《自立》の視点から〕
			〔「は」と「が」比較論
			作文指導における学習者の思考過程の研究
			日本《戯画》研究
			〔「鳥獣戯画」を起点にして〕
			法家思想における主体について
			〔西洋功利主義との比較を中心に〕
			昭和30年代ノスタルジー論
			〔西岸良平『三丁目の夕日』を中心に〕
			日本人中国語学習者における音声習得上の困難点と効果的な習得方法の考察

平成二五年度岩手大学語文学会・発表題目一覧

―複合句の調形変化について―

松本 直子

『竹取物語』論

三上 洋

『論語』からみる、孔子とその弟子達思想

見立屋 慧

『銀河鉄道の夜』論 ―天文学的な視点から―

水戸 亮太

荀子研究 荀子に見える「天人の分」について

八重樫 幸孝

現代日本語における敬語の誤用について

八尾 香

対話の指導に関する研究

山田 真帆

日本語とジェンダー

―女性特有の言葉づかいをめぐる―

〈書道〉

石戸 春加

書の魅力 ―現代の書のあり方を考える―

佐々木 彩歌

呉昌碩の行草作品に関する一考察

末武 柚真

小学校国語科書写の指導法に関する一考察

高橋 亜里沙

土門拳の書と人

能登 祐輔

書字と感性 ―手書き文字の受容―

樋口 汐里

九成宮醴泉銘の獨創性

村岡 初江

―欧陽詢の楷書を比較して―

戦後書教育普及に関する研究

―石橋屋水の業績を中心に―

平成二十五年度修士論文題目一覧

小倉 希美

現代短歌史考 ―〈私〉の表出を巡って―

小原 千知

説明的文章指導における学習材化研究

平成二五年度岩手大学語文学会・発表題目一覧

第四一回大会（平成二五年七月一三日）

I 研究発表

「和歌と短歌における〈私〉」 小倉希美（岩手大学大学院）

「説明的文章指導における学習材化研究」

小原千知（岩手大学大学院）

「岩手県被災地方言の現状について ―危機言語尺度の観点から―」 大野真男（岩手大学大学院教授）

II 講演

「使える演劇 ―演劇ワークショップの現場から―」

倉持裕幸（盛岡劇場演劇アカデミー講師）

第四二回大会（平成二五年一二月七日）

I 卒業論文経過発表

「編集者松居直の絵本観」 生地冬実（岩手大学）

「授業研究と国語教師の力量形成に関する研究 ―反省的実践家の育成に関する授業研究文化とは―」 佐々木智也（岩手大学）

II 研究発表

「文学的文章の指導における読者反応の研究」

高久和則（岩手大学大学院）

「漢代画像石における契馬画像の読解」

劉海宇（岩手大学平泉文化研究センター特任准教授）

III 講演

「富永太郎と中原中也と」

野坂幸弘（岩手大学名誉教授）